

# 社会科 学習指導案（国際理解）

日 時 令和元年10月30日

場 所 音更町立柳町小学校

児 童 6年1組 25名

指導者 教諭 村居 拓郎

## 1 単元名 「新しい日本、平和な日本へ ～東京オリンピック～」

## 2 単元について

戦後の日本の歩みについて、「日本国憲法の制定をはじめとした戦後改革によって平和で民主的な国家を目指していったこと」「サンフランシスコ平和条約を結んだり国際連合への加盟が認められたりして、国際社会に復帰したこと」「東京オリンピックをきっかけとして産業が復興・発展し、国民生活が向上したこと」という3点を主なものとして捉えることができる。

そのため、本単元では資料や写真などを活用して当時の様子を把握できる取り組みを行い、我が国が民主的な国家として出発し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解させたい。

## 3 国際理解 BASIC

### ○ BASIC－1（地理的項目－知識・理解）

モスクワオリンピックとロサンゼルスオリンピックの参加国を示した資料を基に、様々な国の位置を理解する。

### ○ BASIC－2（文化・言語的項目－体験・経験）

戦後の我が国における産業の復興・発展を実生活と関連させて理解する。

### ○ BASIC－3（情報発信・行動的項目－表現・意識）

オリンピックの開催を通して、平和の大切さと他国に認められることの必要性を理解する。

## 4 単元の目標

- 日本国憲法の制定、オリンピックの開催など我が国の戦後の歩みを調べることを通して、戦後、我が国が民主的な国家として出発し、国民の不断の努力によって国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことがわかるとともに、平和で民主的な国家の一員として、これからの日本の課題やよりよい発展について考えようとする。
- 我が国の戦後の歩みから学習問題を見出し、資料を活用して調べたことをまとめるとともに、戦後、我が国が民主的な国家として出発し、国民の不断の努力によって国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことや、平和で民主的な国家の一員として世界の人々とともに生きていくことの大切さについて、思考・判断したことを適切に表現する。

## 5 国際理解の目標

- オリンピックの開催から日本が他国に認められたことを理解する。  
〈世界を考える (intake 活動)〉
- 日本が平和で豊かな国家となったことで、オリンピックを開催できたことを知る。  
〈世界に触れる (output)〉

## 6 指導計画

学習段階	授業の展開	□評価
第1時	各種の資料から、戦後に行われた改革について理解する。	□戦後改革や日本国憲法の制定について、必要な情報を資料から読み取ることができる。
第2時	各種の資料から、日本の独立が承認され、産業が発展したことを理解する。	□日本の国際社会への復帰や産業の復興について調べたことをまとめることができる。
第3時	オリンピックによって産業の復興・発展が起き、国民生活が向上したことを知る。	□東京オリンピックにより、産業が発展したことを理解することができる。
本時	オリンピックを招致できた理由を考え、国際平和について理解を深める。	□日本が国際社会に認められたことや、国際的な平和の大切さを理解することができる。
第5時	現代に残る国際課題について自分なりの意見をもつ。	□平和で民主的な国家の一員として、日本が抱える問題や、よりよい社会について考えることができる。

## 7 本時の目標

- 資料を基にオリンピックが中止になった理由を考え、日本の戦後復興とともに平和を尊重していったことを理解する。
- オリンピックの開催には、国が平和で安定した状況である必要があり、さらに他国による理解が重要であることがわかる。〈世界を考える（intake 活動）、行動化（outcome）〉

## 8 本時の展開

授業の展開	□評価の手立て ◆留意点
<p>第1ステップ 第二次世界大戦後の日本を中心とした国際情勢について考える。</p> <p>〈intake 活動・output 活動〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第二次世界大戦以前の流れからも考えさせる。</li> <li>・第二次世界大戦後、サンフランシスコ平和条約の締結などにより主権が回復したことも確認する。</li> </ul>	<p>◆既習事項から他国から見た日本や、日本の国際社会の復帰の過程を想起させる。</p>
<p>第2ステップ 1940年にも東京にオリンピックの招致がされたが、中止されたことから、本時の課題を立てる。</p> <p>〈intake 活動〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1940年のオリンピックが東京に招致されたが、中止されたことを知る。</li> </ul> <p>「オリンピックを計画していたんだ。」 「なぜ中止になったのかな？」</p>	<p>◆1940年東京オリンピックのポスター提示から、学習意欲を喚起する。</p>
<p>オリンピックを開催するには、どのようなことが必要か見つけよう。</p>	
<p>第3ステップ 年表や既習事項をもとに、侵略行為や戦争が他国や日本の国民生活に大きな影響を与えたことなどから、オリンピックが中止になったことを知る。</p> <p>〈intake・output 活動〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1940年前後にどのような出来事があったかを考える。</li> <li>・その中で、オリンピックの開催に影響を与えた要因となったものを選択し、オリンピックの中止の理由を考える。</li> </ul> <p>「中国との関係が悪くなっていたよね。」</p>	<p>◆これまでの学習を年表にまとめたものを提示する。</p> <p>□資料からオリンピックの中止に関係のありそうな出来事を選び、ノートに書くことができる。</p>

「その後に第二次世界大戦もあったよね。」

- ・オリンピックを行うためには、開催国や国際情勢が平和な状態にある必要があることを理解させる。

**【視点を変える資料提示】**

- ・ボイコットにより棄権した国が示された資料から、開催国には他国から認められる必要があることを考える。

「アメリカやソ連の主要国が参加していない。」

「限られた国で行うオリンピックは楽しくない。」

**第4 ステップ**

1964年の東京オリンピックは、日本が世界に認められた中で開催できたことや、スポーツを通じて国や地域が交流できるのは、開催国が平和で安定した状況である必要があることを知る。

**〈output・outcome 活動〉**

- ・オリンピックを開催できたのは、日本が他の国や地域から認められた結果であることをまとめる。

□オリンピックを行うためには戦争等がない平和な世の中である必要があることをノートに書くことができる。

◆モスクワオリンピック、ロサンゼルスオリンピックの参加国を示し児童の視点を変える。

□オリンピックの開催から、日本が他国から認められたことを知り、他国を認める関係性が重要であるとまとめることができる。

オリンピックを開催するには平和で、他国から認められる必要がある。

- ・近年のオリンピックには様々な国や地域が参加しており、他の国や地域のことを理解することも必要であることを考える。

◆1964年東京大会の参加国数、2020年東京大会へ参加予定国や地域の数を提示し、オリンピックについての理解を深めさせる。